

学生の確保の見通し等を記載した書類 添付資料目次

- 資料 1. 修士課程看護学専攻修了後の状況：人（うち、県内数） P. 2
- 資料 2. 滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程（設置構想中）に関する修士課程修了生・在学生対象アンケート（図） P. 3
- 資料 3. 滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程（設置構想中）に関する修士課程修了生・在学生対象アンケート報告 P. 5

資料1. 修士課程看護学専攻修了後の状況：人（うち、県内数）

（令和3年実施 指導教員対象 修了生の卒業状況調査より）

臨床看護関係		研究・教育関係	
看護部長・看護局長	8 (3)	教授 (大学) *	27 (4)
副看護部長	3 (3)	特任教授 (大学)	1 (1)
看護課長・看護師長	8 (7)	准教授 (大学)	30 (4)
副看護師長	1 (1)	講師 (大学)	16 (6)
企業代表・代表取締役・取締役	3 (2)	助教 (大学)・実習・特任・客員	23 (7)
保健師	5 (4)	副校長	1 (0)
訪問看護ステーション管理者	1 (1)	教務補佐	1 (1)
本学附属病院勤務	7 (7)	客員研究員	1 (0)
	36 (28)		100 (23)
※修了生266名, 回答156名 (59%) そのうち職位不明者20名 ⇒うち滋賀県内 修了生109名, 回答59名 (54%) そのうち職位不明者8名 *大阪公立大学大学院看護学研究科、三重大学看護学科、奈良県立医科大学医学部看護学科、 滋賀県立大学人間看護学科、大阪医科薬科大学看護学科など			

資料2. 滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程（設置構想中）に関する修士課程修了生・在学生対象アンケート（図）

図1. 本学修士課程修了後の進学状況：人，%（令和4年8月実施、「滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程（設置構想中）に関する修士課程修了生・在学生対象アンケート」より）

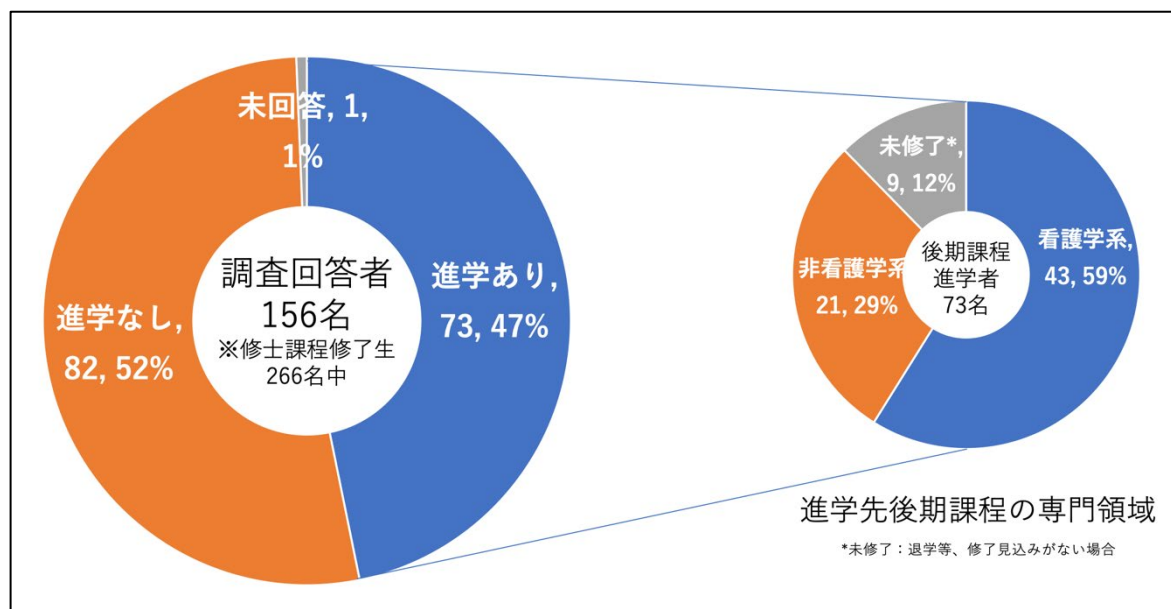


図2. 本学博士後期課程への進学検討（博士号未取得者に対して）：人（令和4年8月実施、「滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程（設置構想中）に関する修士課程修了生・在学生対象アンケート」より）

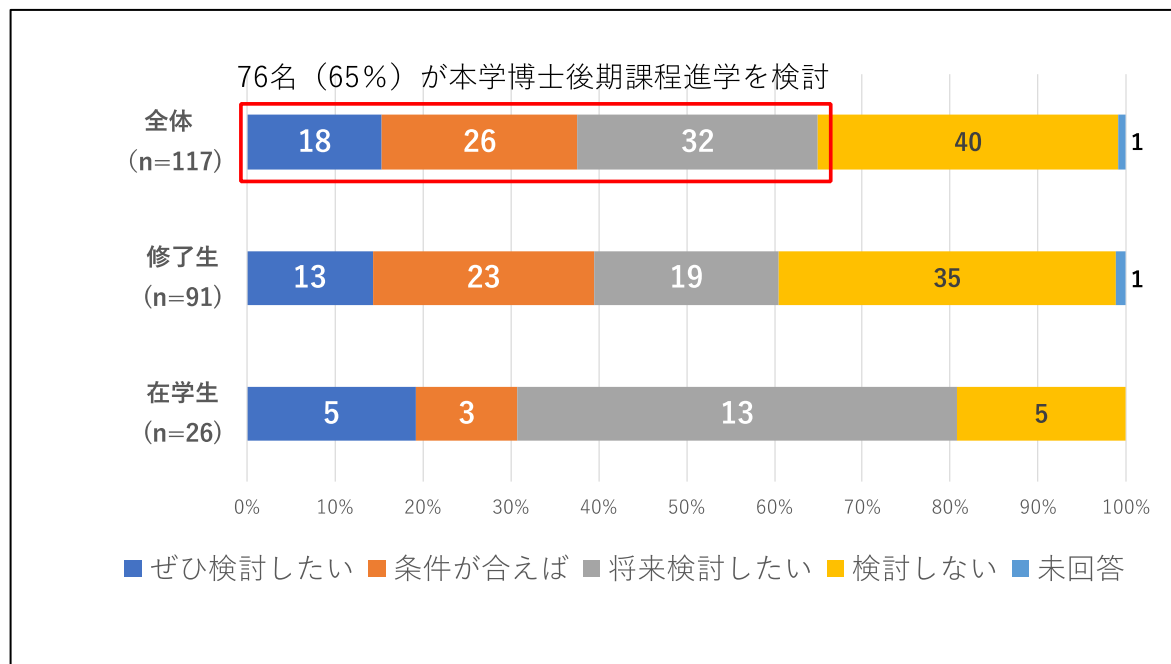
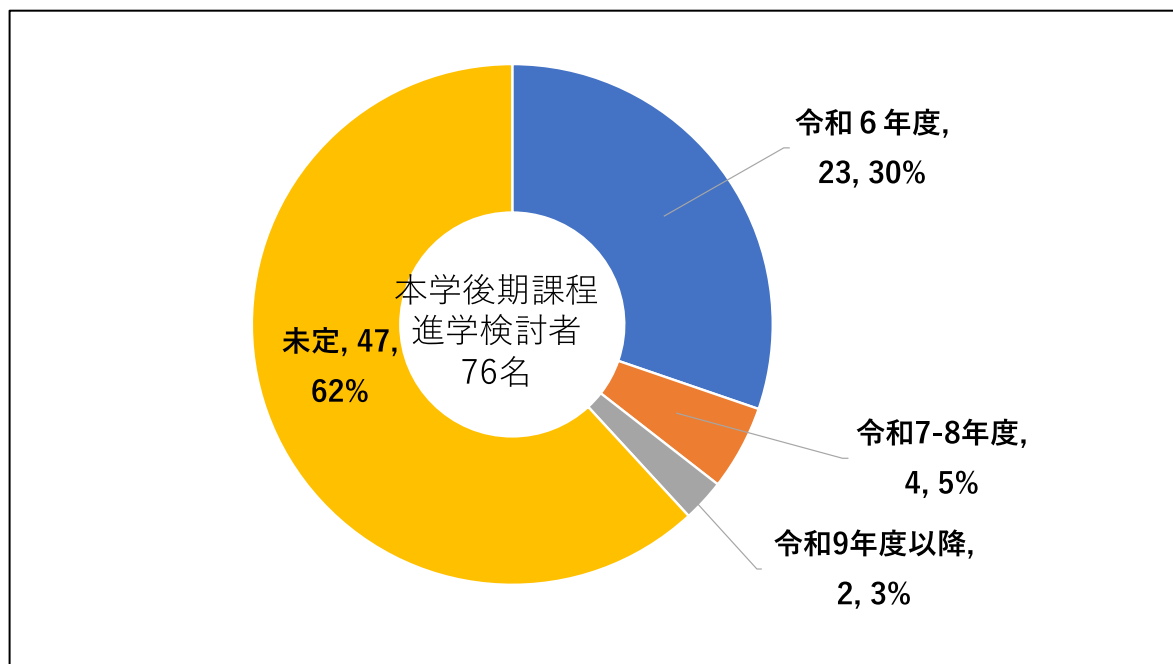


図3. 本学博士後期課程への進学希望時期（進学検討者に対して）：人，％（令和4年8月実施、「滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程（設置構想中）」に関する修士課程修了生・在学生対象アンケートより）



資料 3. 滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程（設置構想中）に関する修士課程修了生・在学生対象アンケート報告

概要

令和 4 年 8 月、滋賀医科大学大学院医学系研究科修士課程看護学専攻修了生 263 名および在学生 44 名を対象に、「滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程（設置構想中）に関する自記式アンケート調査」を実施した（調査項目は資料「アンケート調査票」参照）。307 名中 182 名（修了生 156 名、在学生 26 名）から回答を得た（回答率 59.3%）。修了生 156 名のうち 73 名（47%）が博士後期課程に進学し、77 名（49%）が教育研究職についていることが明らかとなった。博士号未取得の修了生 91 名（未進学 82 名、未修了 9 名）および修士課程在学中の 26 名の計 117 名のうち、本学博士後期課程への進学を「ぜひ検討したい」「条件があれば検討したい」「将来必要性を感じれば検討したい」としたものは 76 名（65%）であった。全回答者 182 名に看護系大学院への進学を検討する際に重視する点を尋ねたところ（複数回答可）、修了生では「教員の研究能力」（73%）、「研究指導体制」（72%）、「学費」（64%）の順に選択者が多かったが、在学者では「学費」（81%）が最も多く、次いで「研究指導体制」（58%）、「教員の研究能力」（50%）であった。博士後期課程で取得したい学位名称は、全体の 62%が「看護学博士」を選択した。

このように、本学修士課程修了生の多くが他大学の博士後期課程へ進学し、大学等での教育研究者として活躍していることから、本学修士課程が学生の研究者としての素地を十分に育成し大学教育へ貢献した実績が示されていると考えられる。また、修了生及び在学生の博士後期課程進学を検討するものが 70 名を超えて存在することから、本学博士後期課程設置後の受験生も十分に確保できると考える。

調査目的： 以下の 3 点を主要な目的とした。

1. 修士課程修了生の進路を把握する。
2. 博士後期課程進学希望者数を把握する。
3. 大学院に求める要素を把握する。

調査方法：

自記式アンケート調査とし、学内者には学内便で、学外者には郵送で調査票を配布した。回答にかかる負担軽減として、滋賀医科大学創立 50 周年記念文具を調査票に同梱した。調査票の返送を持って調査への同意が得られたものとした。

調査対象：

滋賀医科大学大学院医学系研究科修士課程看護学専攻修了生 263 名および在学生 44 名

調査期間： 2022 年 8 月

調査内容：別紙1

基本属性として、年齢・現在の職種・現在の職場・居住地・職場の所在地・在籍コース・在籍領域（修了生に対して）修了後の経過年数および修了後の進学状況を尋ねた。本学博士課程進学に関する意向については、（博士号未取得者に対して）本学博士課程進学への意思・春嶽希望時期・進学を検討する理由、（博士課程既進学者に対して）自身の修士課程修了時に本学が博士後期課程を開設していたとしたら進学を検討したかを尋ねた。さらに、大学院全般についての意見として、本学修士課程に進学してよかった点・看護系大学院への進学を検討する際に重視する点・博士課程で取得したい学位について尋ねた。

分析方法：

各質問項目を全体および修了生・在学生別に集計した。

結果：

対象者 307 名（修了生 263, 在学生 44）のうち、182 名（修了生 156, 在学生 26）から回答が得られた（回答率：全体 59.3%, 修了生 59.3%, 在学生 59.1%）。

・対象者の基本属性（表1）

年齢は、修了生の 88%が 40 歳以上であるのに対し、在学生では 42%が 30 歳未満、69%が 40 歳未満であった。現在の職種は、全体では 42%が教育研究職に就いており（修了生 49%, 在学生 3.8%）、次いで看護師が 34%と多かった（修了生 30%、在学生 58%）。現職場は、全体では 44%が大学・大学院（非看護系大学を含む）であり（修了生 49%、在学生 12%）、次いで病院・診療所 29%であった（修了生 25%、在学生 50%）。滋賀県内居住者は全体では 46%（修了生 41%、在学生 73%）、滋賀県内就業者は全体では 43%（修了生 37%、在学生 81%）であった。

在籍コースは、全体の 86%が研究コース、13%が実践コースであった（修了生：88%, 11%、在学生：73%, 27%）。在籍領域は、全体では、基礎看護学領域 21%、臨床看護学領域 67%、公衆衛生看護学領域 12%であった（修了生：21%, 68%, 10%、在学生：19%, 58%, 23%）。

修了生 156 名の修了後経過年数は、11 年以上が 44%を占めた。本学修士課程修了後、47%が博士後期課程へ進学しており（非看護学系や未修了者を含む）、その 71%が看護学系大学院への進学であった。

・本学博士後期課程進学に関する意向（表2）

修士課程修了生のうち博士号未取得の 91 名（未進学 82 名、退学等未修了 9 名）および修士課程在学中の 26 名、計 117 名に対し、本学に博士後期課程が設置された場合の進学希望について尋ねたところ、「ぜひ検討したい」「条件があれば検討したい」「将来必要性を感じれば検討したい」との回答が 76（65%）であった（修了生 60%、在学生 81%）。また、その時期を令和 6 年度としたものは 30%であった（修了生 36%、在学生 14%）。進学理由（複数回答可）は、全体および

修了生では「研究能力向上のため」が最も多く（全体 53%、修了生 58%）、次いで「生涯学習として」であったが（全体 42%、修了生 40%）、在學生では「教育者を目指しているため」「生涯学習として」が最も多く（48%）、次いで「研究能力向上のため」（38%）、「臨床でのキャリアアップのため」（33%）であった。

修士課程修了生のうち博士後期課程へ進学した 64 名（看護学系博士号取得者 31 名、非看護学系博士号取得者 14 名、看護学系博士課程在籍者 12 名、非看護学系博士課程在籍者 7 名）に対し、修士課程修了時に本学が博士後期課程を開設していたとしたら進学を検討したかを尋ねたところ、「修士課程に続いての進学を検討したと思う」「修士課程修了後、一定期間ののちに進学を検討したと思う」が 89%であった。

・大学院全般に関する意見（表 3）

本学修士課程に進学してよかったと思う点(複数選択可)は、修了生では「研究能力が向上した」(55%)、「研究の楽しさを感じた」(53%) に次いで、「教育職に就いた」(35%) を選択したものが多かった。在学者では「研究能力が向上した」(42%)、「研究の楽しさを感じた」(42%) に次いで、「キャリアアップした」(35%) が多かった。

看護系大学院への進学を検討・選択する際に重視する点(複数選択可) は、修了生では「教員の研究能力」(73%)、「研究指導体制」(72%)、「学費」(64%) の順に選択者が多く、在学者では「学費」(81%)、「研究指導体制」(58%) に次いで、「教員の研究能力」(50%) の順に多かった。

博士後期課程で取得したい学位名称は、全体の 62%が「看護学博士」を選択した(修了生 64%、在學生 46%)。

・自由記載

自由記載欄には 54 名から意見が寄せられた(修了生 39 名、在學生 5 名)。そのうち、31 名が博士後期課程設置を期待する旨のコメントであった。そのほかは、大学院全般に関する問題点の指摘、改善への期待、感謝などであった。

表1 回答者の基本属性

	全体 n=182	在籍状況	
		修了生 n=156	在学生 n=26
年齢			
20代	14 (7.7%)	3 (1.9%)	11 (42.3%)
30代	23 (12.6%)	16 (10.3%)	7 (26.9%)
40代	60 (33.0%)	54 (34.6%)	6 (23.1%)
50歳以上	85 (46.7%)	83 (53.2%)	2 (7.7%)
現在の職種			
看護師	62 (34.1%)	47 (30.1%)	15 (57.7%)
保健師	8 (4.4%)	6 (3.8%)	2 (7.7%)
助産師	13 (7.1%)	11 (7.1%)	2 (7.7%)
その他の医療系職種	6 (3.3%)	4 (2.6%)	2 (7.7%)
教育研究職	77 (42.3%)	76 (48.7%)	1 (3.8%)
その他	15 (8.2%)	11 (7.1%)	4 (15.4%)
現在の職場			
病院・診療所	52 (28.6%)	39 (25.0%)	13 (50.0%)
訪問看護ステーション	4 (2.2%)	4 (2.6%)	0 (0.0%)
高齢者福祉施設	3 (1.6%)	3 (1.9%)	0 (0.0%)
行政機関	3 (1.6%)	2 (1.3%)	1 (3.8%)
企業・団体	4 (2.2%)	4 (2.6%)	0 (0.0%)
看護系大学・大学院	78 (42.9%)	75 (48.1%)	3 (11.5%)
非看護系大学・大学院	2 (1.1%)	2 (1.3%)	0 (0.0%)
研究所等	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
専門学校等	5 (2.7%)	5 (3.2%)	0 (0.0%)
無職	10 (5.5%)	9 (5.8%)	1 (3.8%)
学生・大学院生	11 (6.0%)	3 (1.9%)	8 (30.8%)
その他	10 (5.5%)	10 (6.4%)	0 (0.0%)
修了・在学コース			
研究コース (旧、教育・研究コース)	156 (85.7%)	137 (87.8%)	19 (73.1%)
高度実践コース (旧、高度専門職コース)	24 (13.2%)	17 (10.9%)	7 (26.9%)
修了・在学領域			
基礎看護学領域	38 (20.9%)	33 (21.2%)	5 (19.2%)
臨床看護学領域	121 (66.5%)	106 (67.9%)	15 (57.7%)
公衆衛生看護学領域	22 (12.1%)	16 (10.3%)	6 (23.1%)
修了後の経過年数			
現在在籍中	—	—	26 (100.0%)
1-2年	—	23 (14.7%)	—
3-5年	—	19 (12.2%)	—
6-10年	—	45 (28.8%)	—
11年以上	—	69 (44.2%)	—
修士課程修了後の進学			
看護学系博士 (看護学、保健学等)	—	31 (19.9%)	—
非看護学系博士	—	14 (9.0%)	—
看護学系博士課程在籍中	—	12 (7.7%)	—
非看護学系博士課程在籍中	—	7 (4.5%)	—
修士課程修了後、博士課程には進学していない	—	82 (52.6%)	—
修士課程修了後、博士課程に進学したが退学等、未修了	—	9 (5.8%)	—
現在、本学修士課程に在籍中	—	—	26 (100.0%)
居住地			
滋賀県内	83 (45.6%)	64 (41.0%)	19 (73.1%)
滋賀県外	99 (54.4%)	92 (59.0%)	7 (26.9%)
所属先の所在地			
滋賀県内	78 (42.9%)	57 (36.5%)	21 (80.8%)
滋賀県外	92 (50.5%)	89 (57.1%)	3 (11.5%)
所属先なし・その他	11 (6.0%)	9 (5.8%)	2 (7.7%)

表2 本学博士課程進学に関する意向

		全体	課程修了	
			修了済	在籍中
本学博士課程への進学	※博士号未取得者への問い	(n=117)	(n=91)	(n=26)
ぜひ検討したい		18 (15.4%)	13 (14.3%)	5 (19.2%)
条件があえば検討したい		26 (22.2%)	23 (25.3%)	3 (11.5%)
将来必要性を感じれば、検討したい		32 (27.4%)	19 (20.9%)	13 (50.0%)
検討するつもりは全くない		40 (34.2%)	35 (38.5%)	5 (19.2%)
本学博士への進学時期	※博士課程進学検討者への問い	(n=76)	(n=55)	(n= 21)
令和6年度		23 (30.3%)	21 (38.2%)	3 (14.3%)
令和7-8年度		4 (5.3%)	3 (5.5%)	1 (4.8%)
令和9年度以降		2 (2.6%)	2 (3.6%)	0 (0.0%)
未定		47 (61.8%)	30 (54.5%)	17 (81.0%)
本学博士への進学を検討する理由 (複数選択可)		(n=76)	(n=55)	(n= 21)
研究課題継続のため		19 (25.0%)	16 (29.1%)	3 (14.3%)
研究能力向上のため		40 (52.6%)	32 (58.2%)	8 (38.1%)
研究者としてのキャリアアップのため		28 (36.8%)	24 (43.6%)	4 (19.0%)
臨床実践能力向上のため		19 (25.0%)	13 (23.6%)	6 (28.6%)
臨床でのキャリアアップのため		20 (26.3%)	13 (23.6%)	7 (33.3%)
臨床での指導的役割を担うため		6 (7.9%)	4 (7.3%)	2 (9.5%)
生涯学習として		32 (42.1%)	22 (40.0%)	10 (47.6%)
教育者を目指しているため		20 (26.3%)	10 (18.2%)	10 (47.6%)
その他		3 (3.9%)	3 (5.5%)	0 (0.0%)
修士課程修了時に博士課程の進学検討	※博士課程進学者への問い		(n=64)	
修士課程に続いての進学を検討したと思う		—	27 (42.2%)	—
修士課程修了後、一定期間ののちに進学を検討したと思う		—	30 (46.9%)	—
進学を検討することは全くなかったと思う		—	6 (9.4%)	—

表3 その他、大学院全般に関する意見

	全体 n=182	課程修了	
		修了済 n=156	在籍中 n=26
修士課程に進学してよかったと思う点(複数選択可)			
研究の楽しさを感じた	94 (51.6%)	83 (53.2%)	11 (42.3%)
研究能力が向上した	96 (52.7%)	85 (54.5%)	11 (42.3%)
生涯の課題が見つかった	38 (20.9%)	34 (21.8%)	4 (15.4%)
博士後期課程へ進学した	35 (19.2%)	35 (22.4%)	0 (0.0%)
研究職に就いた	40 (22.0%)	40 (25.6%)	0 (0.0%)
教育職に就いた	56 (30.8%)	55 (35.3%)	1 (3.8%)
臨床実践能力が向上した	23 (12.6%)	19 (12.2%)	4 (15.4%)
臨床の楽しさを感じた	28 (15.4%)	24 (15.4%)	4 (15.4%)
看護管理能力が向上した	30 (16.5%)	28 (17.9%)	2 (7.7%)
認定看護管理者の資格が取得できた	13 (7.1%)	12 (7.7%)	1 (3.8%)
キャリアアップした	51 (28.0%)	42 (26.9%)	9 (34.6%)
指導的役割を担うようになった	23 (12.6%)	22 (14.1%)	1 (3.8%)
その他	14 (7.7%)	12 (7.7%)	2 (7.7%)
看護系大学院への進学を検討・選択する際に重視する点(複数選択可)			
教員の研究能力	127 (69.8%)	114 (73.1%)	13 (50.0%)
教員の臨床能力	39 (21.4%)	34 (21.8%)	5 (19.2%)
カリキュラム	87 (47.8%)	75 (48.1%)	12 (46.2%)
研究指導体制	127 (69.8%)	112 (71.8%)	15 (57.7%)
学費	121 (66.5%)	100 (64.1%)	21 (80.8%)
奨学金制度や授業料減免制度	42 (23.1%)	35 (22.4%)	7 (26.9%)
大学の保有施設 (附属病院を含む)	21 (11.5%)	18 (11.5%)	4 (15.4%)
大学の保有設備 (図書館の蔵書数を含む)	42 (23.1%)	38 (24.4%)	4 (15.4%)
夜間・土曜日開講	96 (52.7%)	85 (54.5%)	11 (42.3%)
長期履修制度	79 (43.4%)	70 (44.9%)	9 (34.6%)
e-Learning等遠隔授業による単位認定	74 (40.7%)	65 (41.7%)	9 (34.6%)
通学時間・経路・利便性	96 (52.7%)	84 (53.8%)	13 (50.0%)
設置主体 (国立・公立・私立) など	51 (28.0%)	44 (28.2%)	7 (26.9%)
大学の知名度	28 (15.4%)	22 (14.1%)	7 (26.9%)
取得学位の名称	33 (18.1%)	29 (18.6%)	5 (19.2%)
その他	7 (3.8%)	5 (3.2%)	2 (7.7%)
博士課程で取得したい学位名称			
看護学	112 (61.5%)	100 (64.1%)	12 (46.2%)
保健学	16 (8.8%)	14 (9.0%)	2 (7.7%)
保健看護学	13 (7.1%)	11 (7.1%)	2 (7.7%)
その他	8 (4.4%)	7 (4.5%)	1 (3.8%)
未定	26 (14.3%)	18 (11.5%)	8 (30.8%)

**滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻
博士課程（設置構想中）に関するアンケート調査**

調査票は4頁であり、回答に要する時間は約15分です。
ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

以下の質問について該当する項目の□に✓（チェック）をご記入下さい。

問1 あなたの年齢を教えてください。

20代 30代 40代 50歳以上

問2 あなたの現在の職種について、最もあてはまるものをひとつお選びください。

看護師 保健師 助産師
その他の医療系職種（具体的に ） 教育研究職
その他（具体的に ）

問3 あなたが現在勤務している職場について、最もあてはまるものをひとつお選びください。

病院・診療所 訪問看護ステーション 高齢者福祉施設
行政機関 企業・団体 看護系大学・大学院
非看護系大学・大学院 研究所等 専門学校等
無職 学生・大学院生
その他（ ）

問4 あなたが修了した（あるいは現在在籍している）コースについてお教えてください。

研究コース（旧、教育・研究コース） 高度実践コース（旧、高度専門職コース）

問5 あなたが修了した（あるいは現在在籍している）研究領域についてお教えてください。

特定行為領域の方は、指導教員の所属領域をお答え下さい。

基礎看護学領域 臨床看護学領域 公衆衛生看護学領域

問6 修士課程修了後の経過年数をお教えてください。

現在在籍中 1～2年 3～5年 6～10年 11年以上

➡ 次ページに続きます

問7 滋賀医科大学医学系研究科修士課程修了後にあなたが修了した（あるいは在籍中の）課程について、あてはまるものをひとつお選びください。

※ 2、4 を選択した方は、() に学位の名称をご記入ください。

※ 現在本学修士課程に在籍中の方は7をお選びください。

<input type="checkbox"/> 1. 看護学系博士（看護学、保健学等）[満期退学後の取得見込含む] <input type="checkbox"/> 2. 非看護学系博士（_____学）[満期退学後の取得見込含む] <input type="checkbox"/> 3. 看護学系博士課程在籍中（看護学、保健学等） <input type="checkbox"/> 4. 非看護学系博士課程在籍中（_____学取得見込）	問11へ
<input type="checkbox"/> 5. 本学修士課程修了後、博士課程には進学していない <input type="checkbox"/> 6. 本学修士課程修了後、博士課程に進学したが未修了 [中途退学・満期退学等で修了見込みのない場合を含む] <input type="checkbox"/> 7. 現在、本学修士課程に在籍中	問8へ

問8 問7で5～7を選択された方にお尋ねします。

あなたは本学大学院博士課程への進学を検討されますか。あてはまるものをひとつお選びください。

<input type="checkbox"/> 1. ぜひ検討したい <input type="checkbox"/> 2. 条件があれば、検討したい <input type="checkbox"/> 3. 将来必要性を感じれば、検討したい	問9へ
<input type="checkbox"/> 4. 検討するつもりは全くない	問12へ

問9 問8で1～3を選択された方にお尋ねします。

本学博士課程への進学時期は、いつ頃をお考えですか。あてはまるものをひとつお選びください。

令和6年度(最短開設年度) 令和7～8年度 令和9年度以降 未定

問10 問8で1～3を選択された方にお尋ねします。

本学の博士課程への進学を検討される理由について、あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 研究課題継続のため | <input type="checkbox"/> 研究能力向上のため |
| <input type="checkbox"/> 研究者としてのキャリアアップのため | <input type="checkbox"/> 臨床実践能力向上のため |
| <input type="checkbox"/> 臨床でのキャリアアップのため | <input type="checkbox"/> 臨床で指導的役割を担うため |
| <input type="checkbox"/> 生涯学習として | <input type="checkbox"/> 教育職を目指しているため |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に_____） | |

➡ 次ページに続きます

問 11 問 7 で 1～4 を選択された方にお尋ねします。

あなたが本学修士課程を修了されるときに本学が博士課程を開設していたとしたら、
進学を検討されたでしょうか。あてはまるものをひとつお選びください。

- 修士課程に続いての進学を検討したと思う。
- 修士課程修了後、一定期間ののちに進学を検討したと思う。
- 進学を検討することは全くなかったと思う。

ここからは全員の方にお尋ねします。

問 12 あなたが本学修士課程に進学してよかったと思う点は何ですか。

あてはまるものを全てお選びください。

- 研究の楽しさを感じた
- 研究能力が向上した
- 生涯の課題が見つかった
- 博士後期課程へ進学した
- 研究職に就いた
- 教育職に就いた
- 臨床実践能力が向上した
- 臨床の楽しさを感じた
- 看護管理能力が向上した
- 認定看護管理者の資格が取得できた
- キャリアアップした
- 指導的役割を担うようになった
- その他（具体的に _____)

問 13 （本学に限らず）看護学系大学院（修士・博士）への進学を検討・選択するにあたって、
重視する点（あるいは重視した点）は何ですか。あてはまるものを全てお選びください。

- 教員の研究能力
- 教員の臨床能力
- カリキュラム
- 研究指導體制
- 学費
- 奨学金制度や授業料減免制度
- 大学の保有施設（附属病院を含む）
- 大学の保有設備（図書館の蔵書数を含む）
- 夜間・土曜日開講
- 長期履修制度
- e-learning 等遠隔授業による単位認定
- 通学時間・経路・利便性
- 設置主体（国立・公立・私立など）
- 大学の知名度
- 取得学位の名称
- その他（ _____)

問 14 （本学に限らず）看護系大学院の博士課程で取得したい学位の名称は何ですか？

当てはまるものをひとつお選びください。

- 看護学
- 保健学
- 保健看護学
- その他（ _____ 学）
- 未定

問 15 あなたの居住地を教えてください。

- 滋賀県内
- 滋賀県外（都道府県名 _____)

➡ 次ページに続きます

問 16 あなたの所属先の所在地を教えてください。

滋賀県内 滋賀県外（都道府県名 ）

所属先なし・その他（ ）

問 17 滋賀医科大学大学院医学系研究科博士課程看護学専攻の設置について、もしくは現在開設されている修士課程看護学専攻について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これで質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました。